

食道ろうチューブとは？

～長期的に食餌をサポート！さらには胃ガス・胃液の除去まで～

●食道ろうチューブとは

首元から食道に向かってチューブを設置する方法です。首元に小さな穴をあけてカテーテルを通し、糸で固定することで数か月間の食餌管理が可能になります。病気により食欲がない動物さんや、腫瘍などの口から食べることが出来ない理由がある動物さんの食餌管理に一役買ってくれます。

○メリット

- ・口や顎といった部分に腫瘍があり、口から食餌を摂れない動物さんにも使用できる
- ・カテーテルが太いものを使用することができ、給餌がしやすい
- ・長期的な管理が可能（数か月）
- ・糸の固定は比較的簡素な構造になっており、糸をほどくことでチューブの移動ができる

→胃まで入れることで胃ガス・過剰な胃液などを抜去することも可能！

○デメリット

- ・全身麻酔が必要
- ・食道に病気がある子には使用不可
- ・性格によってはエリザベスカラーを着用する必要がある
- ・食餌の管理を飼い主さんが行う必要がある

専用のチューブカバーにしまっており、邪魔にもなりません。



当院の看護師さんが飼っていたアリアちゃんです。扁平上皮癌という口の中の腫瘍を患い食道ろうチューブを設置しました。途中から口からの食餌は摂れませんでした。腫瘍が見つかったから半年以上頑張ってくれました。

歯肉や舌・顎に腫瘍ができてしまい、物理的に食餌が摂れない場合や食餌の際に痛みを伴う動物さんに対して食道ろうチューブはかなり有用な方法です。食餌が摂れないということは空腹もちろんありますし、栄養不足により動物さんは疲弊していきます。食餌の管理ができるだけで元気に過ごせる時間が増える場合も多くあります。

お家でできる眼の健康チェックのしかた



お家のワンちゃんネコちゃんの眼を観察したことはありますか？

今回はワンちゃんネコちゃんの眼の違いや特徴、観察するポイント等をご紹介しますと思います。

～犬と猫の眼の違い・特徴～

ワンちゃんとネコちゃんの眼の違い

- ① まつ毛：ワンちゃんは上の瞼にまつ毛が生えていますが、ネコちゃんにはまつ毛がありません
- ② 瞳孔の形：犬の瞳孔は丸形、ネコは縦長

ちなみに・・・💡

ワンちゃんとネコちゃんの眼頭には第三の瞼(瞬膜)

があり、眼を守ったり涙を作ったりする役割があります。※人間にはありません



～健康な眼の特徴～

- ・眼の表面(角膜)が濁りがなく透明で透き通っている
- ・角膜が適度に潤っている
- ・涙はこぼれていない
- ・目ヤニが出ていない
- ・瞳孔の大きさが左右対称
- ・眼をしっかり開けている
- ・白目の部分が白い



～日常のチェック方法～

- ✓ 目ヤニや涙の有無
- ✓ 充血していないか
- ✓ 角膜(眼の表面)が潤って透き通っているか
- ✓ 瞳孔の色や大きさ(左右対称か)
- ✓ 眼の動き、瞬きに異常がないか
- ✓ 顔の前で物を動かすと眼で追いかけるか(ボールやおもちゃ等)

※上記のうち1つでも異常があればご相談ください

動物は眼が見えにくくなってもその症状を言葉で伝えることができないので飼い主さんが日常的に眼の健康をチェックしてあげることがとても大切です。

自宅で定期的にチェックをして何か異常があれば早めに動物病院を受診することをお勧めします。

動物看護師 荻原

しっぽの役割って知っていますか？



わんちゃん、ねこちゃんのしっぽ
振ったり、立てたり、丸めたり...実はとても大きな役割を持っているんです。
今回はそんなしっぽの役割についてご紹介します。

感情を伝えるアンテナ

しっぽの動きから、その子の気持ちを読み取ることができます。

犬:しっぽを大きく振っているときは「うれしい！」というサイン。低く小さく振っている時は「不安」や「緊張」を感じていることもあります。

猫:しっぽをピンと立てて近づいてくるのは「ごきげん、友好的」。逆に、ブンブン強く振っている時は「イライラ」していることが多いんです。

バランスをとる道具

走るときや方向を変えるとき、しっぽは”舵“のような役割をしています。

犬:走りながらしっぽで体を安定させます。

猫:高いところを歩くとき、しっぽで体のバランスをとっています。細い塀の上でも落ちずに歩けるのはしっぽのおかげなんです。

体を守るあったか毛布

しっぽは体温調節や防寒にも役立ちます。

寒い時に巻きつけて暖をとったり、暑い時は毛の少ない部分から熱を逃がす働きもあります。

しっぽには「感情を伝える」「体のバランスをとる」「体を守る」という大切な役割があります。お家で過ごす時やお散歩の時にしっぽの動きに注目してみると、新しい発見があるかもしれません。

しっぽを追いかけてクルクル回る行動は遊びの場合もありますが、ストレスや皮膚トラブルのサインであることもあります。

気になることがあればご相談ください。

看護師 戸谷

【幹細胞治療の新しいカタチ】

幹細胞治療、すなわち幹細胞という細胞を薬として投与する治療です。再生医療のひとつでもあり、とても凄い治療のように聞こえますよね。優れた効果が数多く示され、今では確固たる治療分野を確立しています。

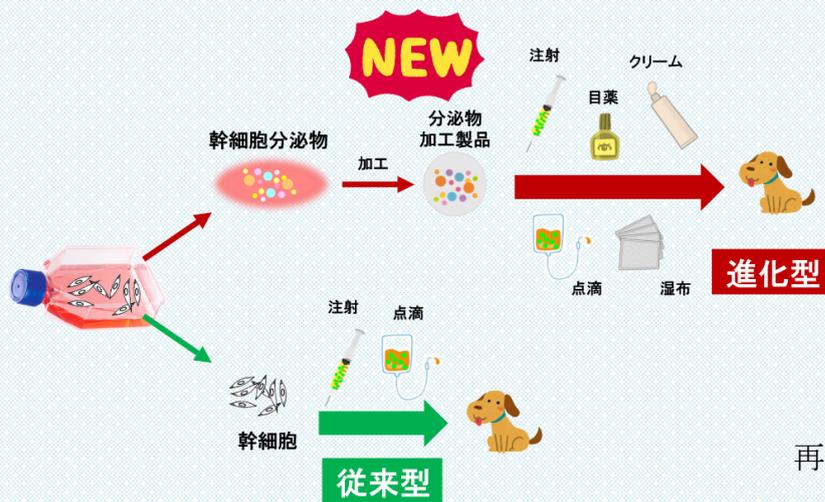
当院でも幹細胞治療を紹介する際には、「先進医療」のようなキャッチコピーを添えたりしています。実際、幹細胞という優れたものを扱い、幹細胞の培養・分離・保管・分析のための機器や用品類を取り揃えます。そして、高度な専門技術で薬となる幹細胞を準備・調剤し、ワンちゃん、ネコちゃんたちに提供しているのです。なかなか大変ですが、とても良い治療です。

実は現在、幹細胞治療は大きく形（治療方法）が変わったものが生まれつつあります。幹細胞治療が進化して派生したひとつのカタチというべきものです。

従来型の幹細胞治療は「幹細胞」を投与する治療ですが、この新しい方法では「幹細胞の分泌物」を投与します。幹細胞の治療効果の主体は、「幹細胞の分泌物」（幹細胞が分泌する身体に有益な様々な物質の混合物）であることがわかってきたからです。

つまり、幹細胞そのものは必要なく、それでいて似たような効果を得ようとするものです。分泌物は液体に含まれる物質たちですので、細胞と比べて取り扱いが相当簡単なのです。そのまま投与もできますが、クリームや湿布などに配合して使用することもできます。人間用の幹細胞分泌物の製品はすでにあり、病気の治療に利用されるだけでなく、分泌物配合の美肌商品に利用されたりしています。動物用のものはなかったのですが、実は**ちょうど犬用の幹細胞分泌物主要成分が販売され、入手できるようになりました。**

いろいろな病気の治療の役に立ちますが、当院ではまずは飼い主様がお家でも使える点眼液に配合して、角膜損傷やドライアイなどの眼の病気でご提供したいと考えています。従来型も素晴らしいですが、新しい利便性の高い選択肢が増えるのは良いことです。幹細胞治療はグッと身近な治療になります。



再生医療部門・培養担当 横関

SAKURA ANIMAL CLINIC
さくら動物病院

長野どうぶつ眼科センター(併設)

休診：火曜日／第四日曜日／
木・日・祝祭日の午後

ホームページはこちら！
獣医師出勤表、お知らせ随時更新中！



休診日・午後休診は
当院のホームページまたは
お電話にてご確認ください。